【資料２】

長野市文化財保存活用地域計画
R7年度事業報告・R8年度事業予定

令和7年度第2回協議会における協議会委員からのコメント

【基本方針１についてのコメント】

外部の方々との連携を活発することが大事。市民団体が関わった調査の成果や意見を展示に活かすことで、より良い成果が期待できる。この取り組みは、単に情報提供を意味する「方針1」の範疇に留まらず、文化財の「活用」を促す「方針2」以降の事業としても積極的に推進すべきである。市民の地道な活動を把握するということ自身も次の目標に入れてもいい。
未指定文化財の現状把握調査について、中長期的な計画と事業の全体像を構想し、具体的に提示してほしい。
市民や民間団体の活動成果を展示に積極的に活かし、その成果を方針1だけでなく方針2以降（活用・担い手育成等）にも繋がるよう、積極的に進めること。

【基本方針2についてのコメント】

三十三灯篭の映像化に続き、文化財の映像化をすすめ、市民にも分かりやすい形で公開してほしい。
「国登録文化財への支援」が「未着手」とされているが、建造物に関しては既に「歴まち法」に基づき歴史的風致形成建造物に特定するなど整備が進められているため、この表記は実態と異なると思われる。既にある「歴まち法」との連携実績を明確にし、積極的に推進していることを示すべきである。文化財側でハザードマップを自分で作るというよりも、市のハザードマップに文化財を落としてもらうことが重要。災害時文化財レスキュー体制の構築を進めてほしい。文化財保護指導委員の活用や文化財保存活用支援団体の指定、国の文化財防災センターや県との連携なども入れ込んだものにしてほしい。

【基本方針3についてのコメント】

信州社研との連携による教材開発をさらに進め、教育現場の負担を考慮しつつ、地域学習や総合学習など教科横断的な視点も取り入れていってほしい。教育委員会の地域まなびの課や公民館と連携を進めていってほしい。
宝物館や市立博物館の空調など施設の環境改善に向けた具体的な対応策と基本方針を示してほしい。

【基本方針4についてのコメント】

「文化活動団体把握アンケート」と「民間の文化財活用活動支援」が未着手であるが、人口減少が進む中で、新たな担い手の掘り起こしや民間団体との連携が不可欠であり、早急にどのような団体や職種（竹細工、茅葺き職人など）が喫緊の課題なのかを洗い出し、把握調査と活動支援を進めるべき。
真田宝物館の建て替えにあたって、参加資格を下げて全国から広く建築家を募集するコンペ（設計競技）を実施し、特に若手建築家にも機会を提供することで、革新的なアイデアと地域活性化（視察・宿泊促進）に繋がる方策を検討してほしい。

【関連文化財群5についてのコメント】

この計画ができるときに、まち歩きをやっていただいた。その時に団体同士の新しい交流が生まれた。そういった取り組みが担い手やファンを増やし、幅を広げるのに重要だと思う。特に善光寺門前あたりは、若い芸術家の方など、いろんな方の活動が多様に膨らみつつあるので、広がりをつくるいいチャンスだと思う。大学の研究者や学生も参加しやすい場所だと思う。

【関連文化財群6についてのコメント】

戸隠竹細工ご術継承事業の支援と関連して、吉田高校戸隠分校は探求学習で竹細工も勉強している。そういった活動と連携していけるといい。竹細工はインバウンド向けの文化観光コンテンツとして有望であり、制作実演や見学の場を設けることで購入促進や魅力発信につながるので、検討してほしい。

【関連文化財群9についてのコメント】

地域間交流は意外としていない。意図的に地域間の交流を持たせたり、若い人が見学や参加できる機会をつくったり、できることはいろいろあると思うので、検討してほしい。文化活動団体や文化財の担い手についての現状把握を未着手になっているので実施してほしい。祭礼把握調査の実施が未着手となっているが、善光寺の祭りは一覧表を持っている。祭りの担い手が高齢化しており、継続が難しくなってきている。

基本方針１）文化財を掘り起こす（調査）

地域で守り伝えられてきた多様な文化財を市民と共に掘り起こし、価値づけをすることで、市民にも来訪者（観光客等）にも魅力ある長野の歴史文化の特徴を広く共有していく。

方針１－１　文化財を総合的に把握する

番号	措　　置	Ｒ７年度事業報告	R8年度事業進捗	期間 実施
1	市内仏教美術調査	昨年度に続き善光寺大勧進、寛慶寺、明徳寺（豊栄）を実施。新たに円光寺（今里）の調査を追加して実施した。【博】	昨年度に引き続き善光寺大勧進、寛慶寺の調査を実施。【博】	R6-13
2	未指定文化財の現状把握調査	更北地区の不動寺・青木島如意輪観音堂・小島田中組公民館（旧観音堂）の什物調査を実施した。【博・文】 松代藩商人家の資料調査を実施。その後、当館へ寄託となった。【宝】	更北地区、善導寺の什物調査を実施。【博・文】 松代藩士家の資料調査を実施。その後、当館へ寄託予定【宝】	R6-13
3	近世社寺の調査	信州新町地区を対象に一次調査を9割実施済み。【文】	信州新町地区を対象に一次調査が終了。今年度からは主要な神社について詳細調査を行う予定。【文】	R6-13
4	埋蔵文化財分布調査の実施	開発事業に先立ち36件（4～1月）の試掘調査を実施。【埋文】	開発事業に先立ち、試掘調査を適宜実施する。【埋文】	R6-13
5	戸隠竹細工調査	R5年度から実施してきた調査成果をまとめている。【文】	商工労働課、戸隠支所、戸隠竹細工組合と連携して、戸隠竹細工の国伝統技術への認定申請を年度末に提出予定【博・戸隠支所・商工】	R6-9
6	文化財総合データベースの整備	文化財データ・高精細デジタル画像の登録【博・文・埋文・宝】	文化財データ・高精細デジタル画像の登録【博・文・埋文・宝】	R6-13

【実施状況】　6措置実施

方針１－２　文化財を研究し価値づける

【評価指標】上段：目標値　下段：実績値　R5は実績値

指　標	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
新たに刊行した図録・報告書数（冊／年）	5	→							5
		5	8						

番号	措　　置	Ｒ７年度事業報告	R8年度事業進捗	期間 実施
7	博物館、宝物館等での展示研究事業	「見るカイあり！貝の魅力大集合-長野の貝化石から現在の貝殻まで-」(5,965人)、「Sun! Sun! Sun! ～市民がつないできた太陽観測～」(11,478人)、「戦後80年－長野の市民と戦後社会－(前期)（後期）」(28,252人)、「平五郎座右記～藤屋御本陳と変わり行く門前町～」(5,151人)、「戸隠から世界へ！～トガクシソウ発見150年＆シナノホタテ命名100年～」(6,370人),「昭和の学校を体験！～目からうろこの教材たち～」(2,330人)、「ながのしアチコチよこいさ～ん・横井弘三没後60年展」(2,162人)、「信州新町周辺のクジラ化石」(3,720人)、「三葉虫がいた海」(6,736人)を実施。【博】 「真田家の家紋」(20,662人)、「新収蔵資料展・特別公開 長國寺所蔵 岩佐又兵衛筆「堀江物語絵巻」展」(12,945人)、「真田邸下張文書の世界」(1,764人)を実施。【宝】	地域資料の調査・研究に基づき展示を実施する 「はかるとわかる」、「長野にセイウチがいた！　オントケトゥスからたどる鰭脚類の進化」、「信濃の武士と『一所懸命之地』―寄進・奉納とのかかわりから―」、「馬に引かれて善光寺参り―博物館収蔵品のなかの馬―」、「田んぼとため池の生きもの」、「河原の石ころ～石ころから学ぶ、大地のおいたち～」、「市立長野高校美術部の軌跡展Ⅲ」、「信州新町周辺のクジラ化石」、「100年ぶりの里帰り！ヒラバヤシジカと日本のシカたち」、「サメたちとフォッサマグナの海【博】 「資料からよみとく　松代藩士・赤澤家の歴史」、「松代城　花の丸―真田家の御殿―」、「松代の雅楽」【宝】	R6-13
8	文化財の収集、整理	寄贈資料・寄託資料受け入れ、資料購入などを実施。【博・宝】	寄贈資料・寄託資料受け入れ、資料購入などを実施。【博・宝】	R6-13
9	ながの祇園祭祭礼調査	市指定に向けた祭礼の参与調査を実施した。【文・博】	市指定に向けた祭礼の参与調査を実施する。【文・博】	R6-9

【実施状況】　3措置実施

基本方針２）掘り起こした文化財を保存する（保存）

経年劣化や災害等による文化財の滅失・損傷を防ぎ、確実に保存していくため、日常の維持管理と計画的な修理を行う。

方針２－１　文化財を適切に維持管理する

【評価指標】上段：目標値　下段：実績値　R5は実績値

指　標	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
指定文化財保護活動参加者数（人）	2,246	→							2,500
		2,363	2663						

番号	措　置	Ｒ７年度事業	R8年度事業予定	期間 実施
10	文化財所有者管理者研修会	12月2日に実施。【文】	12月初旬に実施予定。【文】	R6-13
11	文化財所有者意識調査	文化財パトロールや文化財所有者管理者研修会において、所有者が抱えている課題などを把握した。【文】	文化財パトロールや文化財所有者管理者研修会において、所有者が抱えている課題などを把握する。【文】	R6-13
12	文化財パトロール	国・県指定文化財のパトロール（45件/パトロール員3名）、および市指定文化財のパトロール（71件/パトロール員24人）を実施。 市指定については長野市文化財保護協会と連携して実施した。【文】	国・県指定文化財のパトロール（45件/パトロール員3名）、および市指定文化財のパトロール（62件/パトロール員22人）を実施予定。 市指定については長野市文化財保護協会と連携して実施する。【文】	R6-13
13	保存活用計画の作成	未実施	指定文化財の保存活用計画の作成に向けて、計画のテンプレートを作成する。【文】	R6-13
14	真田宝物館施設整備	登録博物館に向けた検討委員会を開催。県に申請中。【宝】	令和８年３月、登録博物館に承認される【宝】	R6-13
15	博物館収蔵施設再編に向けての検討	博物館資料の管理に関する専門家会議を開催。信級文化財収蔵庫資料の再調査を実施。【博】	博物館資料の管理に関する要領について策定を進める。 日原文化財収蔵庫資料の再調査を実施する。【博】	R6-13
16	各団体をまとめる窓口設置の検討	―	―	R10-13
17	文化財保護行政に寄与する団体に対する支援	長野市文化財保護協会に対し、活動補助を交付した。【文】	長野市文化財保護協会に対し、活動補助を交付予定。【文】	R6-13
18	博物館等文化施設のボランティア、友の会活動の支援	博物館ボランティア（ながはくパートナー）による被災資料の保全作業や小学校の社会見学の対応、友の会同好会の講座を実施。【博】 松代文化財ボランティア活動に対する補助及び協働活動の実施。【宝】	博物館ボランティア（ながはくパートナー）による被災資料の保全作業や小学校の社会見学の対応、友の会同好会の講座を実施。【博】 松代文化財ボランティア活動に対する補助及び協働活動の実施【宝】	R6-13
19	文化活動団体把握アンケート	未着手	R4年度に公民館・交流センター向けに行ったアンケートをもとに、再びアンケートを行う。【文】	R6-13

20	郷土史研究者との連携	更北の郷土史研究者と共に更北地区の文化財把握調査を実施。【博・文】	更北の郷土史研究者と共に更北地区の文化財把握調査を実施。【博・文】	R6-13
21	文化財の記録保存調査	建物解体予定の登録有形文化財（日本クレーン協会長野支部博物館）について、記録保存調査を実施。【文】	建物解体予定の登録有形文化財（東飯田酒造店漬物蔵）について、記録保存調査を実施予定。【文】	R6-13
22	無形文化財、無形の民俗文化財の映像記録化及び公開	篠ノ井三十三灯籠行事の記録撮影を実施。【文】	市選択無形民俗文化財の映像記録化に向けた予備調査の実施【博】	R6-13
23	埋蔵文化財緊急発掘調査	屋地遺跡ほか14件の緊急発掘調査(発掘9件・整理5件)を実施した。【埋文】	水内坐一元神社遺跡ほかの緊急発掘調査を実施する。【埋文】	R6-13

【実施状況】　14措置中10措置実施

方針２－２　文化財を適切に修理する

【評価指標】上段：目標値　下段：実績値　R5は実績値

指　標	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
指定等文化財修理補助事業件数（件）	4	→							5
		4	6						

番号	措　　置	Ｒ７年度事業	R8年度事業予定	期間 実施
24	国史跡大室古墳群の保存整備事業	古墳１基（155号墳）の保存整備工事を実施。【埋文】	173号墳の保存整備工事、167号墳の保存整備実施設計、177号墳の安全対策実施設計を実施【埋文】	R6-13
25	国史跡松代城跡の保存整備事業	第2期整備計画に基づく外周園路整備工事、二の丸遺構外整備工事、石垣測量調査、発掘調査、史料調査等を実施【文】	第2期整備計画に基づく二の丸遺構外整備工事、史跡南東部保存整備設計、二の丸石場門復元検討、発掘調査、史料調査等を実施【文】	R6-13
26	指定等文化財の保存整備事業	県史跡牧之島城跡の三の丸橋の整備（橋設置工事）を実施した。 市指定文化財旧作新学校本館の整備事業を実施した。 市指定文化財旧松代藩鐘楼の外壁修繕工事を実施した。【文】	松代文化施設土塀修理基本設計【文】	R6-13
27	指定等文化財修理補助事業	浅川八櫛神社社殿、若穂正満寺山門、鬼無里松巌寺経蔵、戸隠中社の納経供養塔の修理、松代矢沢家のヒムロの剪定、鬼無里南浦のイチイの保護に対して補助を行った。【文】	戸隠田頭の巌窟観音堂、若穂正満寺山門の修理事業、真島のクワ、荒倉山神社のトチの剪定事業、風間神社本殿の消防設備設置事業に対して補助を行う。【文】	R6-13
28	国登録文化財への支援の検討	未着手	未着手	R6-13

【実施状況】　5措置中4措置実施

方針２－３　災害や盗難に備える

番号	措　　置	Ｒ７年度事業	R8年度事業予定	期間 実施
2	未指定文化財の現状把握調査 ※方針１－１措置２を再掲	※方針１－１措置２を再掲	※方針１－１措置２を再掲	R6-13
29	防犯パトロール体制の強化	長野市文化財保護協会と連携した文化財パトロールの実施や、所有者・管理者研修会で防犯への意識啓発及び巡視の呼びかけを行った。【文】	長野市文化財保護協会と連携した文化財パトロールの実施や、所有者・管理者研修会で防犯への意識啓発及び巡視の呼びかけを行う。【文】	R6-9
30	戸隠伝統的建造物群保存地区の台帳整備	特定物件の追加に即して台帳の整備（追加）を行った。今後紙ベースではなく電子ベースの台帳の整備を検討中。【文】	特定物件の追加等に即して台帳の整備を行う。並行して、紙媒体ではなく電子での台帳の整備を検討。【文】	R6-13
31	地域の文化財防災マニュアル作成	R6年度に作成した耐震改修マニュアルを使って、住民向けの勉強会を行ったほか、地元消防関係者向けの防災ワークショップを開催した。（戸隠伝建地区）【文】	これまでに作成した防災マニュアルをホームページに掲載し、周知を図るとともに、戸隠伝建地区内で勉強会を開催する。（戸隠伝建地区）【文】	R6-9
32	文化財防災訓練の実施	1月26日の文化財防火デーに合わせ善光寺を始め真田宝物館でも防災訓練を実施した。また消防局と連携し防火デー前後で指定文化財の消防点検を行い、所有者・管理者の防災意識の向上に努めた。【文・消】	1月26日の文化財防火デーに合わせて防災訓練を実施する。また消防局と連携し防火デー前後で指定文化財の消防点検を行い、所有者・管理者の防災意識の向上に努める。【文・消】	R6-13
33	文化財所有者・管理者向け文化財防災チェックリストの作成	未着手	長野県文化財防災マニュアルに準じ、文化財防災チェックリストを作成する。【文】	R6-9
34	文化財ハザードマップの作成	未着手	GISにおいて、指定文化財の位置とハザードマップを合わせた、文化財ハザードマップの作成に着手。（公開時期は未定）【文】	R6-9
35	善光寺の防災防犯設備整備	―	―	R6完了
36	旧横田家住宅の防災施設整備	―	―	R6完了
37	戸隠重要伝統的建造物群保存地区の防災対策	外部通報システムの構築に向けた基本設計を実施。 中社区・宝光社区の防災訓練の機会をとらえ、勉強会や軽可搬ポンプの操作訓練を実施した。【文】	積雪時の吸水が容易なサクションパイプを既存防火水槽に設置。 中社区・宝光社区の防災訓練の機会をとらえ、勉強会や軽可搬ポンプの操作訓練を実施。【文】	R6-9
38	被災文化財保全活動の支援	博物館ボランティア（ながはくパートナー）による被災資料の保全作業を継続。【博】	博物館ボランティア（ながはくパートナー）による被災資料の保全作業を継続。【博】	R6-13
39	災害時文化財レスキュー体制の構築	未着手	信州資料ネットやヘリテージマネージャー協議会などの団体と協力体制について協議する【文】。	R6-9

【実施状況】　12措置中9措置実施

基本方針３）歴史文化の魅力を伝え活用する（活用）

市民や来訪者（観光客等）の誰もが、長野らしさを伝える市内の多様な文化財の魅力を知ることができるよう、文化財を学ぶ機会の創出や情報発信を行い、文化財を核としたまちづくりや観光に活用していくことで、文化財の保存と活用の好循環を生み出していく。

方針３－１　文化財を学ぶ機会を充実させる

【評価指標】上段：目標値　下段：実績値　R5は実績値

指　標	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
展示施設への学校社会見学の受け入れ数（団体）	117	→	→	→	→	→	→	→	150
		137	121						

番号	措　置	Ｒ７年度事業	R8年度事業予定	期間 実施
40	学芸員出前講座	依頼に応じた講師派遣25件、市主催講演会２件を実施。【埋文】 公民館・市立長野高校（ながのろじー）への講師派遣【博・文・埋文・宝】	依頼に応じた講師派遣、市主催講演会を適宜実施。【埋文】 公民館・市立長野高校（ながのろじー）への講師派遣【博・文・埋文・宝】	R6-13
41	出張展示	柳原交流センター・市役所・篠ノ井交流センターにて速報展「遺跡が語る長野の歴史2025」を実施し、4,153人が来場した。【埋文】	市役所や市民交流センター等を会場に、速報展(出張展示)を実施。【埋文】	R6-13
42	小中学校教育との連携推進事業	小学校社会見学（博物館72,宝物館21,戸隠24,信州新町８）の受け入れ、及び中学校（博物館５,宝物館6,戸隠３）の受け入れ、職場体験を9件(博７件,宝1件)受け入れた。【博・宝】	小学校社会見学の受け入れ、及び中学校見学の受け入れ、職場体験の受け入れを実施する。【博・宝】	R6-13
43	教員と連携した文化財に関する教材開発	信州社研と情報交換会を実施した。【文・博・宝・埋文】	信州社研と情報交換会を実施予定。【文・博・宝・埋文】	R6-13
44	地域と教員の連携支援	―	―	R10-13

【実施状況】　5措置中4措置実施

方針３－２　文化財についての情報発信の充実

【評価指標】上段：目標値　下段：実績値

指　標	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
長野市デジタルミュージアムのアクセス数（万件）	0	→	→	→	→	→	→	→	200
		120	182						
地域の文化財を紹介した展覧会数	14	→	→	→	→	→	→	→	15
		13	13						

番号	措　置	Ｒ７年度事業	R8年度事業予定	期間 実施
45	文化財総合ポータルサイトコンテンツ整備事業	文化財データ・高精細デジタル画像の登録【博・文・埋文・宝】	文化財データ・高精細デジタル画像の登録【博・文・埋文・宝】	R6-13

46	説明板等の設置、改修	戸隠伝建地区について紹介する説明板を宝光社区に設置したほか、指定文化財である銅造観音菩薩立像、大鋒寺真田信之霊屋の説明板改修、南向塚古墳、鶴萩古墳、葛山落合神社境内諏訪神社社殿の標柱建替えを行った。【文】	指定文化財である木造十一面観音立像、諏訪神社本殿、石造多層塔の標柱建替え、風間神社本殿の標柱・説明板の新設、未指定文化財である粟野学校跡・神郷小学校跡の既存説明板板面の張替えを行う。【文】	R6-13
47	博物館等での文化財調査結果の展示	方針１－２措置７と同様	方針１－２措置７と同様	R6-13
48	展示図録等の刊行	特別展にあわせた展示図録「Sun! Sun! Sun! ～市民がつないできた太陽観測～」及び収蔵資料目録「真田邸下張り文書整理調査報告書」「収蔵品目録　松代藩御大工小泉家資料目録」、研究紀要、たより、ブックレット等を刊行【博・宝】	特別展にあわせた展示図録「長野にセイウチがいた！―オントケトゥスからたどる鰭脚類の進化―」、「松代城　花の丸―真田家の御殿―」、「収蔵品目録　武具（１）」、研究紀要、たより「六連銭」、ブックレット等を刊行【博・宝】	R6-13
49	地域の文化活動団体刊行物の情報提供	未着手	未着手	R6-13
50	多言語解説拡充整備	戸隠伝建地区説明板の設置に際して、二次元コードからアクセスして英語解説を読むことができるように整備した。【文】	文化財説明板設置の際に、二次元コードからアクセスして英語解説を読むことができるように整備する。【文】	R6-13
51	地域計画の周知、計画の進捗状況の発信	市民出前講座にて地域計画の内容について説明（古牧地区・博物館友の会・更北地区）【文】	計画の内容を文化財課ホームページで周知する【文】	R6-13

【実施状況】　7措置中6措置実施

方針３－３　文化財を活かした文化観光を推進する

【評価指標】上段：目標値　下段：実績値

指　標	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
文化財ガイドで案内した人数（人） ＜長野市ガイド協会及び松代文化財ボランティアの会による案内人数＞	8,573	→	→	→	→	→	→	→	9,430
		8,689	11,963						

番号	措　　置	Ｒ７年度事業	R8年度事業予定	期間 実施
52	文化財ガイド人材の育成及び、プロガイド養成の検討	松代文化財ボランティア新規養成講座の実施【宝】	松代文化財ボランティア新規養成講座の実施【宝】	R6-13
53	来訪者アンケート	博物館、宝物館の来館者に対し紙及びデジタルアンケートの実施【博・宝】	博物館、宝物館の来館者に対し紙及びデジタルアンケートの実施【博・宝】	R6-13
54	文化財を活用した体験型観光コンテンツの開発支援	R6年度に開発した真田邸での殿様御膳提供を含む松代地区における歴史文化コンテンツの高付加価値ガイド付きツアーを4回実施した。【観光】	R6年度に開発した真田邸での殿様御膳提供を含む松代地区における歴史文化コンテンツの高付加価値ガイド付きツアーを実施する。【観光】	R6-13
55	歴史文化や景観、伝統工芸の保存に寄与する活動の観光コンテンツ化	戸隠地区で地元協議会主催で開催される茅葺屋根に用いる茅刈りの体験事業を継続的に支援した（今年度は3回実施、計151人参加）。【まち・文】	戸隠地区で地元協議会主催で開催される茅葺屋根に用いる茅刈りの体験事業を継続的に支援する。【まち・文】	R6-13

56	市内文化財周遊促進のための観光ルートやガイドマップ作成支援	―	―	R10-13
57	鬼無里観光協会と連携した鬼無里地区の周遊促進	鬼無里ふるさと資料館においてロビー展示「鬼無里観光のポスター展」を実施。	鬼無里ふるさと資料館においてロビー展示「乾燥野菜と郷土食」を実施。【博】	R6-13
58	民間の文化財活用活動支援	未着手	松代文化施設の活用ビジョン策定に伴い、官民連携した文化施設の活用方針について検討を行う【文】	R6-13

【実施状況】　7措置中5措置実施

方針３－４　文化財を活かした歴史まちづくりを推進する

番号	措　置	Ｒ７年度事業	R8年度事業予定	期間 実施
59	地域団体等と連携した文化財を軸としたまちづくり	中条宮遺跡公園において、虫倉郷土史研究会や小学校・高校と連携しながら市民や子供たちに縄文の文化に触れてもらう体験講座を８回開催し、のべ176名の参加者があった。【文】	中条宮遺跡公園において、虫倉郷土史研究会や小学校・高校と連携しながら市民や子供たちに縄文の文化に触れてもらう体験講座を開催する予定。【文】	R10-13
60	文化財を核にしたまちづくりの推進	これまで協力してきた長野郷土史研究会鬼無里支部による鬼無里のお堂調査が今年度で終了した。来年度以降は調査結果を教育・観光・文化財の保存継承に活用していく意向の鬼無里支部に対し引き続き協力していく【博】	長野郷土史研究会鬼無里支部の活動に引き続き協力していく【博】	R6-13
61	伝統環境保存事業	「松代の泉水・泉水路を守る会」と協働し、庭園の保存継承に関するアンケート調査を実施した。また、審議会を開催し、より効果的な事業とするべく意見を聴取した。【文】	保存対象物の修理等に対する助成を行うとともに、現状に応じた保存計画等の見直しを進める。【文】	R6-13
62	景観重要建造物修理助成事業	若穂川田の北村邸長屋門修理に対し補助を行った。【まち】	松代町松代の八田邸長土蔵の修理に対し補助を行う。【まち】	R6-13
63	歴史的風致形成建造物修理助成事業	修理助成なし【まち】	今年度は修理助成の予定なし【まち】	R6-13
64	無電柱化、道路美装化による歴史的景観整備	戸隠中社・宝光社地区の道路美装化・無電柱化を継続して実施した。【まち】	戸隠中社・宝光社地区の道路美装化を継続して実施する。【まち】	R6-13

【実施状況】　6措置中５措置実施

方針３－５　文化施設の持続可能な活用マネジメント

番号	措　置	Ｒ７年度事業	R8年度事業予定	期間 実施
65	真田宝物館建替えの検討	松代文化施設に関するサウンディング型市場調査を実施【文・宝】 登録博物館に向けた検討委員会を開催。現在申請中【宝】	真田宝物館及び松代文化施設の将来的な活用の方向性を示す活用ビジョンを策定し、新真田宝物館整備の方針を作成する。【文・宝】	R6-13
66	戸隠地質化石博物館とそば博物館との連携の検討	未着手	未着手	R6-13

67	博物館再編事業	博物館再編について検討【博・文】	松代文化施設の活用ビジョン策定に伴い、関連する博物館施設の再編方針について検討を行う【博・文】	R6-13

【実施状況】　3措置中2措置実施

基本方針4）文化財が継承される仕組みを作る（継承）

社会環境の変化による文化財の担い手不足や、保存に関わる専門人材の不足、保存に必要な資金・資材の不足に対して、市民・行政・民間団体等が一体となって次世代に継承していく仕組みを構築する。

方針４－１　文化財の担い手育成

【評価指標】上段：目標値　下段：実績値

指　標	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
文化財の担い手継承事業参加者数（人）	2,622	→							4,000
＜伝統芸能こどもフェスティバル来場者数＞		3,578	2,428						

番号	措　置	Ｒ７年度事業	R8年度事業予定	期間 実施
68	団体の活動や用具の修理等に関する補助	伝統芸能活動団体35団体に対し補助を実施。【文芸】	伝統芸能活動団体への補助を引き続き実施。【文芸】	R6-13
69	伝統芸能の発表機会の提供	5月3日に第９回獅子舞フェスティバルを開催し、73団体が参加した。 また10月25、26日に伝統芸能こどもフェスティバルを開催し26団体が参加し、2,428人の来場者があった。【文芸】	5月3日に第10回獅子舞フェスティバルを開催し、71団体が参加した。 また、10月11日、12日に伝統芸能こどもフェスティバルを開催予定。【文芸】	R6-13
70	伝統工芸継承支援	戸隠竹細工の技術伝承支援として昨年度に続き竹細工技術の歴史的調査を実施した。【文】	昨年度に引き続き、戸隠竹細工技術の歴史的調査を実施する。【博】	R6-９
71	文化財の担い手についての把握調査	未着手	未着手	R6-13
72	文化財の担い手となる市民、団体の育成	伝統芸能子どもフェスティバルの開催【文芸】 教職員向け講習会を実施【博(戸隠)】 古文書講座の開催及び松代文化財ボランティアの会との資料整理講座を実施し、今年度はその成果を企画展「下張り文書の世界」で紹介した。【宝】	伝統芸能こどもフェスティバルを開催予定【文芸】 古文書講座の開催及び松代文化財ボランティアの会との資料整理（襖の下張り文書）講座を実施【宝】	R6-13
73	文化財に携わる職人の活動支援の検討	未着手	未着手	R6-13
74	文化財修理に関わる技術者の把握と連携	職人・工房等への継続した資料の手入れ及び修復を依頼している。【宝】	職人・工房等への継続した資料の手入れ及び修復の依頼【宝】	R6-13

【実施状況】　7措置中５措置実施

方針４－２　文化財の継承に必要な資金・資材調達の仕組みを作る

【評価指標】上段：目標値　下段：実績値

指　標	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
ふるさと納税（文化財関係）の寄付金額（万円）　12	11,210	→							13,500
		13,104	11,783						

番号	措　　置	Ｒ７年度事業	R8年度事業予定	期間 実施
75	ふるさと納税等寄付金による資金調達	松代城跡保存整備、戸隠地区重伝建等で実施【文】	松代城跡保存整備、戸隠地区重伝建等で実施【文】	R6-13
76	文化財修理に必要な原材料の確保支援	茅葺屋根に用いる材料確保と伝統技術の継承のため、地元協議会主催で実施する茅刈り体験事業の支援を行った（3回実施,計151人参加）。【まち・文】	茅葺屋根に用いる材料確保と伝統技術の継承のため、地元協議会主催で実施する茅刈り体験事業を支援する。【まち・文】	R6-13

【実施状況】　2措置実施

方針４－３　文化財の継承に必要な専門人材との連携を強化する

【評価指標】上段：目標値　下段：実績値

指　標	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
連携が図れた文化活動団体数（団体）	5	→	→	→	→	→	→	→	13
		6	7						

番号	措　　置	Ｒ７年度事業	R8年度事業予定	期間 実施
77	文化財の保存活用に関わる団体との連携強化	信州社研、長野県建築士会、長野市文化財保護協会、戸隠竹細工組合、松代の泉水・泉水路を守る会、虫倉郷土史研究会、長野郷土史研究会鬼無里支部と連携を図り、文化財保存活用の活動を実施。【文】	信州社研、長野県建築士会、長野市文化財保護協会、戸隠竹細工組合、松代の泉水・泉水路を守る会、虫倉郷土史研究会、長野郷土史研究会鬼無里支部と連携を図り、文化財保存活用の活動を実施。【文】	R6-13
78	歴史的建築物の活用ノウハウを有した企業との連携	松代文化施設民間活力導入可能性調査として、官民連携した文化施設の新たな活用手法について、意見交換を実施した。【文・宝】	松代文化施設の活用ビジョンを策定において、民間事業者を対象としたヒアリング・サウンディング等を実施し、官民連携した運営方針を作成する。【文・宝】	R6-13

【実施状況】　2措置中２措置実施

関連文化財群１）大地の記憶 海だった長野

長野市の大地の生い立ちを特徴づける地質現象並びに古生物に関連する文化財群について取り上げ、長野盆地と周辺の山間地の地質的特徴についての普及啓発やそれを示す記念物等文化財の保護に向けた取組を進めていく。

措置	取　組	Ｒ７年度事業	R8年度事業予定	期間 実施
1	野外観察会の実施	自然観察教室及び 植物観察会を計20回実施【博】	自然観察教室及び 植物観察会を計20回実施予定【博】	R6-13
2	構成文化財群の魅力発信事業の実施	広報広聴課　市政番組　ふれあい長野　2回（7月：長野の水はどこから　　11月：北八幡川はどこへながれるのか）　企画・出演【博】	広報広聴課　YouTube番組　ふいーるながの　企画・出演【博】	R6-13
3	フィールドワークの実施	講座としての街歩き（中部公民館２回　城山公民館１回　計45名参加予定）【博】	公民館講座での街歩き（中部２回　城山１回　浅川1回　戸隠　3回　計80名参加予定）【博】	R6-13
4	収蔵地質資料の調査研究と整理	旧更府小学校移管資料・採集資料等の整理を実施、クジラ化石等のクリーニング、館外研究者と共同で県内産中生代植物化石資料の研究を推進、氷河時代の球果化石の採取と標本化【博】	旧更府小学校移管資料・採集資料等の整理を実施、クジラ化石等のクリーニング、館外研究者と共同で県内産中生代植物化石資料の研究を推進【博】	R6-13
5	博物館収蔵品のレプリカ作成	「裏沢の絶滅セイウチ化石」レプリカ作成【博】	「菅沼の絶滅セイウチ化石、大口沢」のアシカ科化石」レプリカ作成【博】	R6-13
6	文化財を活用したグッズ開発の検討	化石を題材としたマグネットの作成【博】	化石を題材とした缶バッジ、缶マグネット、模型フィギュアの作成【博】	R6-9
7	SNS等を活用した情報発信	博物館のSNSやブログを活用し情報を発信【博】	博物館のSNSやブログを活用し情報を発信【博】	R6-13
8	収蔵品ＤＢの充実とＨＰのアクセスビリティの向上	「長野市デジタルミュージアム」に新収蔵資料を登載、収蔵資料データの情報を更新【博】	「長野市デジタルミュージアム」に新収蔵資料を登載、収蔵資料データの情報を更新【博】	R6-13
9	市民参加の推進	信州新町地区・化石に関する共催イベントを実施（10月11日、12日）【博】	信州新町地区・化石に関するイベントを実施【博】	R6-13
10	教職員への研修	市教育センター初任者研修 56名参加（７月30日）、教職員キャリアアップ研修1名受入（7月31日・8月1日）、教職員向け講	長野市理科専科会 、上高井教育会・付属長野小　研修ほか8月　約90名参加予定【博】	R6-13
11	小中学校教育との連携推進事業	学校団体向けに地層見学（戸隠27団体1,109人、信州新町8団体566人）や化石クリーニング体験（戸隠4団体156人）等を実施【博】	学校団体向けに地層見学（戸隠30団体1000人程度）や化石クリーニング体験（戸隠６団体200人）等を実施予定【博】	R6-13

【実施状況】　11措置中10措置実施

関連文化財群２）「信濃の国のはじまり」のはじまり

長野市域を中心とする善光寺平一帯には弥生時代から古墳時代にかけての、「信濃国」成立へ向けた政治・経済圏の形成過程を知る上で重要な史跡や考古資料が集積しており、それらの調査や保存活用、情報発信を継続的に行う。

措置	取　組	Ｒ７年度事業	R8年度事業予定	期間 実施
1	埋蔵文化財分布調査	開発事業に先立ち、39件の試掘調査を実施した。【埋文】	開発事業に先立ち、試掘調査を適宜実施する。【埋文】	R6-13
2	市内遺跡確認調査事業	未実施（事業として未着手）	赤色立体図等により確認された未周知遺	R6-9
3	資料の収集・整理・研究	宮崎遺跡出土資料の再整理、川柳将軍塚古墳に関する資料収集【埋文】	宮崎遺跡出土資料の再整理、川柳将軍塚古墳に関する資料収集【埋文】	R6-13
4	指定等文化財候補の選定	選定候補リスト作成準備【埋文】	選定候補リスト作成準備【埋文】	R6-13
5	史跡大室古墳群整備専門家会	3/23に開催【埋文】	3月に開催【埋文】	R6-13
6	大室古墳群管理事業	４～11月に実施（12月1日～３月31日冬期閉館）【埋文】	４～11月に実施（12月1日～３月31日冬期閉館）【埋文】	R6-13
7	史跡大室古墳群保存整備事業	155号墳の保存整備工事を実施【埋文】	173号墳の保存整備工事、167号墳の保存整備実施設計、177号墳の安全対策実施	R6-13
8	史跡大室古墳群保存管理計画	令和10年度以降を計画【埋文】	令和10年度以降を計画【埋文】	R10-13
9	文化財保護への支援	文化財保存団体計50件に対して文化財保護事業補助金を交付【文】	文化財保存団体計50件に対して文化財保護事業補助金の交付を予定【文】	R6-13
10	地域の文化財の担い手育成	発掘調査作業員研修会を4/2と1/9に開催【埋文】	発掘調査作業員研修会を４月と１月に開催【埋文】	R6-13
11	収蔵スペースの確保	信州新町収蔵施設の運用開始【埋文】	信州新町収蔵施設の運用【埋文】	R6-13
12	博物館収蔵庫改修、特別収蔵庫の設置の検討	未実施	博物館再編について検討【博・文】	R6-13
13	大室古墳群アクセス道路の整備	大型構造物に関する軟弱地盤対策の工法検討を実施【文】	軟弱地盤対策を反映した道路構造に関する設計を実施する。【文】	R6-13
14	関連文化財群に関する普及啓発	長野市デジタルミュージアムにおいて関連文化財群を紹介【文】	大室古墳群見学会を10月に開催する。【埋文】	R6-13
15	構成文化財の教材化の検討	信州社会科研究会との継続検討（授業実践・夏季研修）を実施【埋文】	信州社会科研究会との継続検討（授業実践・夏季研修）を実施【埋文】	R6-13
16	博物館常設展の更新・拡充、及び企画展の開催	未実施	未実施	R6-13
17	ガイドマップの作成及びガイド人材の育成	パンフレット・分布地図を常時提供。【埋文】	パンフレット・分布地図を常時提供。【埋文】	R6-13
18	大室古墳群まつりの開催	10/19(日)に地元実行委員会により開催。参加者598名。【埋文】	R8年度は開催中止。【埋文】	R6-13

【実施状況】　18措置中14措置実施

関連文化財群３）川中島の戦いと伝承

川中島合戦は全国的に名の知られた戦いであり、現在もその合戦跡をたどって本市に足を運ぶ人が多い。そのため全市にわたる川中島合戦関連史跡の調査を行い、その魅力について情報発信を行っていく。

措置	取　　組	Ｒ７年度事業	R8年度事業予定	期間 実施
1	川中島の戦い関連資料の収集	川中島の戦いに関連する錦絵などの資料を購入した。【博】	川中島の戦いに関連する古文書、錦絵などの資料を購入する。【博】	R6-13
2	展示公開による情報発信	市立博物館「川中島の戦い」展示室において、佐藤コレクションや武田信玄書状といった資料の展示公開を実施し、情報発信を行った。【博】	市立博物館「川中島の戦い」展示室において、佐藤コレクションや武田信玄書状といった資料の展示公開を実施し、情報発信を行う。【博】	R6-13
3	博物館展示設備改修	ー	ー	R10-13
4	川中島合戦文化財周遊コンテンツの作成	川中島の戦いデジタルスタンプラリーの実施【観光】	今年度も同様に川中島の戦いデジタルスタンプラリーを継続して実施する。【観光】	R6-13
5	川中島の戦い関連文化財紹介ＨＰの新設	ー	ー	R6完了
6	教育機関向け学習コンテンツの開発	長野市デジタルミュージアムながの好奇心の森において子ども向けの関連文化財群紹介ページを掲載した。【文】	長野市デジタルミュージアムながの好奇心の森において子ども向けの関連文化財群紹介ページを掲載する。【文】	R10-13
7	牧之島城跡の保存整備を進める	本丸と丸馬出しの間の空濠にかかる橋を設置した。【文】	県史跡指定地内の支障木や枯木など、伐採・撤去を進める。【文】	R6-9

【実施状況】　7措置中６措置実施

関連文化財群４）松代城下町に伝わる武家文化

松代には松代藩と関連する歴史資料や史跡、建造物、生活文化、風習が集積している。これら未指定を含む文化財についての調査や保存・活用、情報発信を総体的かつ継続的に行い、まちづくりや観光振興にその効果を波及させる。

措置	取　組	Ｒ７年度事業	R8年度事業予定	期間 実施
1	松代藩関係資料調査	松代藩及び真田家関係資料の調査・研究・公開【宝】	松代藩及び真田家関係資料の整理・調査・研究・公開【宝】	R6-13
2	松代城下町文化財調査	松代藩及び真田家関係資料の調査・研究・公開【宝】	松代藩及び真田家関係資料の整理・調査・研究・公開【宝】	R6-13
3	流出した松代藩関係資料の収集	松代藩及び真田家関係資料の収集・購入【宝】	松代藩及び真田家関係資料の収集・購入【宝】	R6-13
4	外部研究機関との共同研究事業の推進	国文学研究資料館・信州大学ほか研究機関との共同研究の実施【宝】	国文学研究資料館・信州大学ほか研究機関との共同研究の実施【宝】	R6-13
5	真田宝物館展示室及び収蔵施設整備の検討	真田宝物館収蔵庫ハロン消火設備改修工事を実施した。 松代文化施設民間活力導入可能性調査において、真田宝物館のリニューアルについて、民間事業者と意見交換を実施した。【文・宝】	真田宝物館及び松代文化施設の将来的な管理・活用の方向性を示す「活用ビジョン」策定において、新真田宝物館の整備方針及び収蔵施設方針を検討する。【文・宝】	R6-13
6	松代城跡保存整備事業	第2期整備計画に基づく外周園路整備工事、二の丸遺構外整備工事、石垣測量調査、発掘調査、史料調査等を実施。【文】	第2期整備計画に基づく二の丸南西部の遺構保存整備工事、遺構保存整備設計、二の丸石場門復元基本設計、発掘調査、史料調査等を実施。【文】	R6-13
7	旧横田家住宅の防災施設整備事業	ー	ー	R6完了
8	登録文化財への登録推進支援	松代地区住民自治協議会と連携し、頤氣神社本殿ほか３棟が登録。【文】	松代地区住民自治協議会と連携し、登録文化財推進を支援。【文】	R6-13
9	歴史的まちなみ環境整備事業	未実施【まち】	主な事業が完了済みのため今年度は未実施。【まち】	R6-13
10	伝統環境保存事業	「松代の泉水・泉水路を守る会」と協働し、庭園の保存継承に関するアンケート調査を実施した。また、審議会を開催し、より効果的な事業とするべく意見を聴取した。【文】	保存対象物の修理等に対する助成を行うとともに、現状に応じた保存計画等の見直しを進める。【文】	R6-13
11	庭園の維持管理体制の検討	「松代の泉水・泉水路を守る会」の活動（池の浚渫）に対する協力を行うとともに、維持管理の検討材料として泉水所有者アンケートによる現状把握を実施した。【文】	「松代の泉水・泉水路を守る会」と協働し、水路網の現状把握調査を実施する。【文】	R6-13
12	文化財保存のための財源確保	ふるさと納税制度を活用【文】	ふるさと納税制度を活用【文】	R6-13
13	松代藩関係資料購入基金創設の検討	未着手	未着手	R6-13
14	災害時の文化財レスキュー体制の検討	未着手	文化財の所在調査とあわせ、県のレスキューガイドラインに基づいた体制づくり【宝】	R6-9

15	松代藩関係文化財の情報発信	長野市デジタルミュージアム（ながの好奇心の森）や展示図録・たよりの発行及び宝物館HP・SNSなどによる情報発信。書籍・新聞・テレビ・メディア等への所蔵資料の画像データ貸出、または番組等への出演。【宝】	長野市デジタルミュージアム（ながの好奇心の森）や展示図録・たよりの発行及び宝物館HP・SNSなどによる情報発信。書籍・新聞・テレビ・メディア等への所蔵資料の画像データ貸出、または番組等への出演【宝】	R6-13
16	着地型文化観光コンテンツ開発支援	昨年度開発した英語ガイド付き体験ツアーを行った。【観光】	今年度も同様のツアーを継続して実施する。【観光】	R6-13
17	歴史的建造物活用事業の推進	真田邸のプロジェクションマッピング、ライトアップ等を実施。また、松代文化施設民間活力導入可能性調査を実施し、官民連携した文化施設の新たな活用手法について、民間事業者と意見交換を進めた。【文・宝・観光】	真田邸のライトアップ等を実施予定。また、松代文化施設活用ビジョン策定に向けて官民連携した文化施設の新たな活用手法を検討し、活用方針を作成予定。【文・宝・観光】	R10-13
18	教育機関と連携した普及啓発事業	学校と連携し、学習教材として真田宝物館資料の利用を促進した。職場体験・博物館実習・インターンシップを積極的に受け入れた。【宝】	学校と連携し、真田宝物館資料の学習教材利用を促進 職場体験・博物館実習・インターンシップの受け入れ【宝】	R10-13
19	松代藩関係文化財の普及事業	長野市デジタルミュージアムによる情報発信の推進のほか、展示にあわせた講演会の開催、ギャラリートークやワークショップ、イベント等の実施。ミュージアムグッズ（ハンドタオル、トートバッグ・アクリルチャーム・マスキングテープ、クリアファイルほか）の作成を行った。【宝】	長野市デジタルミュージアムによる情報発信の推進のほか、展示にあわせた見学会の開催、ギャラリートークやワークショップ、イベント等の実施。 ミュージアムグッズ（ハンドタオル、クリアファイルほか）の作成【宝】	R6-13
20	文化財の担い手育成	「松代の泉水・泉水路を守る会」の活動（池の浚渫、学習会）に対し連携協力し、活動継続の支援を行った。【文】	「松代の泉水・泉水路を守る会」の活動（池の浚渫、学習会）に対し連携協力し、活動継続の支援を行う。【文】	R6-13
21	建造物修理に必要な技術継承、人材育成支援	―	―	R10-13
22	伝統工芸、伝統芸能技術継承、後継者育成支援	―	―	R10-13

【実施状況】　22措置中18措置実施

関連文化財群５）善光寺・門前町に息づく歴史文化と祭礼

善光寺とその門前町一帯には、善光寺と関連する歴史資料や遺跡、建造物、生活文化、風習が集積している。これら未指定を含む文化財についての調査や保存・活用、情報発信を総体的かつ継続的に行い、まちづくりや観光振興にその効果を波及させる。

措置	取　組	Ｒ７年度事業	R8年度事業予定	期間 実施
1	善光寺関連資料の把握調査	大勧進の宝物調査を継続実施【博】	大勧進の宝物調査を継続実施【博】	R6-13
2	歴史的建造物、祭礼などの調査の推進	ながの祇園祭の調査を実施【文・博】	ながの祇園祭の調査を実施【文・博】	R6-13
3	善光寺本堂の耐震、防災対策の検討支援	善光寺防災計画に基づき所有者が実施する本堂、三門、経蔵等の防災施設整備事業について必要な支援を行った。【文】	事業完了	R6完了
4	防災訓練の実施	1月26日の文化財防火デーに合わせ、消防訓練、避難訓練を実施した。【文・消】	1月26日の文化財防火デーに合わせ、消防訓練、避難訓練を実施予定。【文・消】	R6-9
5	善光寺保存事業の実施支援	建物破損の進行状況把握、修理時期・規模の特定などに活用するため、所有者が保存活用計画に基づき三門・経蔵を３Ｄ計測する事業等に対し、必要な支援を行った。【文】	令和７年度に引き続き、本堂の３D計測事業等に対して必要な支援を行う。	R6-9
6	善光寺関連施設修理の検討	本堂の大規模修理にあわせた周辺関連施設の修理予定について、所有者と情報共有を行った。【文】	令和７年度に引き続き、所有者及び関係機関と情報共有を行う。	R6-9
7	建築基準法適用除外の検討	庁内関係課で検討を行った。【まち】	庁内関係課で検討中。【まち】	R6-9
8	リノベーション支援	未着手	未着手	R6-13
9	歴史的まちなみ環境整備事業	主な事業が完了済みのため今年度は未実施。【まち】	主な事業が完了済みのため今年度は未実施。【まち】	R6-13
10	文化財修理基金創設の検討	未着手	未着手	R6-13
11	門前まちあるきイベントの促進支援	長野市ガイド協会の企画「長野市ホットなまち歩き」についてガイド協会と協議を行った。【文】	引き続き長野市ガイド協会の企画に協力する。【文】	R6-13
12	文化財を活用した観光コンテンツ開発支援	検討中【文】	検討中【文】	R6-13
13	ガイドマップの更新及びガイド人材育成支援	長野市ガイド協会と協議、検討を行った。	引き続き長野市ガイド協会の企画に協力する。【文】	R6-9
14	教育機関と連携した普及啓発事業	未実施	未実施	R6-13
15	建造物修理の技術継承と後継	未着手	未着手	R6-13

【実施状況】　15措置中10措置実施

関連文化財群６）自然と信仰が紡ぐ戸隠の歴史文化

戸隠には、戸隠信仰に関わる歴史資料や遺跡、建造物、生活文化、風習が集積するとともに、戸隠信仰を生み出す背景となった自然環境が良好に保全されている。これら未指定を含む文化財やそれを取り巻く環境についての調査や保存・活用、情報発信を総体的かつ継続的に行い、まちづくりや観光振興にその効果を波及させる。

措置	取　　組	Ｒ７年度事業	R8年度事業予定	期間 実施
1	戸隠竹細工調査の実施 ※方針１－１措置５再掲	方針１－１措置５再掲	方針１－１措置５再掲	R6-9
2	戸隠山関連文書の把握調査	昨年度に引き続き社家（宿坊）文書の撮影及び整理を実施した。【文】	今年度は撮影・整理の予定はない。【文・博】	R6-13
3	観光パンフレットの作成及びガイド人材育成支援	ガイド養成事業の実施について戸隠観光協会と検討中。【文】	ガイド養成事業の実施について戸隠観光協会と検討中。【文】	R6-9
4	文化観光コンテンツの開発を支援する	未着手	未着手	R6-13
5	戸隠神社奥社社叢水路等の整備	文化財指定範囲における雨水排水の現況を把握し、文化財保存のための水路整備を行う事業に対し、協議及び補助を行った。【文】	文化財指定範囲における雨水排水の現況を把握し、文化財保存のための水路整備を行う事業に対し、協議及び補助を行った。【文】	R6-9
6	伝統的建造物群防災対策事業の実施 ※方針２－３措置37再掲	方針２－３措置37再掲	方針２－３措置37再掲	R6-9
7	伝統的建造物群保存地区保存事業の推進	所有者等が実施する建造物の修理２件、修景１件に対して助成を行った。また宝光社区に伝建保存地区の説明看板を設置した。【文】	所有者等が実施する建造物の修理５件、修景１件に対して補助金の交付を予定。【文】	R6-13
8	伝統的建造物群の建築基準法適用除外の検討	庁内関係課で検討を行った。【まち】	庁内関係課で検討中。【まち】	R6-9
9	茅刈り事業の推進支援	茅葺屋根に用いる材料確保と伝統技術の継承のため、地元協議会主催で実施する茅刈り体験事業の支援を行った（3回実施、計151人参加）。【まち・文】	茅葺屋根に用いる材料確保と伝統技術の継承のため、地元協議会主催で実施する茅刈り体験事業を支援する。【まち・文】	R6-13
10	古民家活用事業の支援	宝光社地区で土蔵を修理し一棟貸タイプの宿泊施設にする事業に対し、建物修理支援を行った。移住予定者が空き家バンクを通して伝建地区内の物件を購入し、飲食・宿泊施設として活用する事業に対して修理修景助成の検討をした。【文】	宝光社地区において移住予定者が空き家バンクを通して伝建地区内の物件を購入し、飲食・宿泊施設として活用する修理及び修景事業に対して補助金の交付を予定。【文】	R6-13
11	戸隠竹細工技術継承事業の支援	戸隠竹細工の製作工程調査を継続して実施した。【文】	昨年度に引き続き、戸隠竹細工技術の歴史的調査を実施する。【博】	R6-13
12	歴史的まちなみ環境整備事業	道路美装化工事、電柱電線類移設工事を継続して実施した。【まち】	戸隠中社・宝光社地区の道路美装化を継続して実施する。【まち】	R6-13
13	文化財保存のための財源確保	ふるさと納税制度の活用を予定。【文・まち】	ふるさと納税制度の活用を予定。【文・まち】	R6-13

【実施状況】　13措置中12措置実施

関連文化財群７）里山の恵みを活かした暮らしと粉食

現在の長野市を成り立たせてきたかつての主産業と、その変遷を示す文化財の魅力を高め、その保存と活用を積極的に図ること、また長野市を代表する食文化の振興を図る。

措置	取　　組	Ｒ７年度事業	R8年度事業予定	期間 実施
1	生産生業資料のコレクション化に向けての研究	信州新町信級収蔵庫の資料の調査を実施した。【博】	信州新町日原収蔵庫の資料の調査を実施する。【博】	R6-13
2	生産生業資料をテーマとした展示公開事業	常設展示において二毛作の展示を継続した。【博】	常設展示において二毛作の展示を継続する。【博】	R6-13
3	昔の暮らしを伝えるボランティアの育成	ながはくパートナー昔たいけんグループの活動を継続した。【博】	ながはくパートナー昔たいけんグループの活動を継続する。【博】	R6-13
4	鬼無里の屋台の魅力発信	鬼無里ふるさと資料館における屋台解説等を実施した。【博】	鬼無里ふるさと資料館における屋台解説等を実施する。【博】	R6-13

【実施状況】　4措置実施

関連文化財群８）川と共に生きる－千曲川水系と暮らし－

長野盆地を形成し、長野市の人々の暮らしと深いつながりのある千曲川がもたらしてきた恵みと災いについての普及啓発と、それを物語る文化財の保存や活用に向けた取組を進めていく。

措置	取　　組	Ｒ７年度事業	R8年度事業予定	期間 実施
1	漁撈資料の調査と収集	若穂の漁撈の道具を収蔵した。【博】	令和７年度実施済み。【博】	R6-13
2	漁撈資料の展示公開	常設展示室の川と共に生きるコーナーを水害を踏まえた内容とした。【博】	常設展示室の川と共に生きるコーナーを継続実施する。【博】	R6-13
3	博物館収蔵設備整備	―	―	R10-13
4	文化財保全活動体制の整備	ながはくパートナーにおける文化財保全活動を継続した。【博】	ながはくパートナーにおける文化財保全活動を継続する。【博】	R6-13

【実施状況】　4措置中3措置実施

関連文化財群９）長野市に伝わる多様な祭礼・行事

長野市域に展開される多様な祭礼・行事のなかから、市域を特徴づける民俗文化財が後世まで継承されるようその実態を把握するとともに、情報の発信を通じてその魅力を伝える取組を進めていく。

措置	取　　組	Ｒ７年度事業	R8年度事業予定	期間 実施
1	行事・祭礼把握調査の実施	未着手	未指定文化財リストを基に実態把握を進める【博】	R6-13
2	伝統芸能継承支援事業	伝統芸能活動団体35団体に対し補助を実施。【文芸】	伝統芸能活動団体への補助を引き続き実施。【文芸】	R6-13
3	行事・祭礼の映像記録化事業	市選択無形民俗文化財（三十三灯籠）の映像記録化を実施した。【文】	市選択無形民俗文化財の映像記録化に向けた予備調査の実施【博】	R6-13
4	行事・祭礼の情報発信	ながの観光コンベンションビューローや観光協会と連携しながらHPやSNSで、各地区の祭礼等の取組を積極的にPRした。【まち】	ながの観光コンベンションビューローや観光協会と連携しながらHPやSNSで、各地区の祭礼等の取組を積極的にPRを行う【まち】	R6-13
5	行事・祭礼の担い手育成支援	未着手	未着手	R6-13
6	市域の特徴ある祭礼行事の情報発信	篠ノ井塩崎地区のどんど焼き行事（県指定）を市政番組で紹介した。【文】	博物館のSNSを通じて情報を発信していく【博】	R6-13

【実施状況】　6措置中4措置実施